

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	深沢地域整備課長 齋藤 政徳	
拠点-07 深沢地域整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	深沢地域整備課
	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	市街地整備	施策の方針
			市街地整備の推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	鎌倉駅周辺、大船駅周辺と並ぶ第三の都市拠点の形成を図るため
効果	全市的な課題や少子高齢化社会に対応したまちづくりが実現する

2 平成27年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>・権利者との合意形成の再構築や生活再建築の立案等について、専門家の支援を受けるとともに、平成25年度から設置している換地、補償等に係る権利者の相談窓口を引き続き設置して対応を行った。</li> <li>・平成26年度に実施した事業スキームの再構築、修正土地利用計画に係る事業性の精査、事業費の削減等の検討結果を基に、土地区画整理事業の実現化に向けて深度化を図った。</li> <li>・修正土地利用計画に市民、権利者等の意見・要望等を反映させるため、平成27年8月から11月まで、市民参加によるワークショップ形式の「深沢地域整備事業のまちづくり意見交換会」を開催した。</li> <li>・事業用地(A用地)について、平成26年度に実施した土壌汚染対策調査により汚染が判明したことから、対策処理を行った。</li> <li>・取得済みの事業用地の管理を行った。</li> <li>・湘南地区整備連絡協議会の運営を行うとともに、前年度からの繰越明許費により、村岡・深沢地区総合交通戦略の策定、新駅設置コスト削減方策検討調査を行った。</li> <li>・市街地整備についての情報収集を行うため、市街地整備促進協議会へ参加した。</li> </ul>
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	127,803	79,464	当初予算(千円)	28,153		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他	28,541	26,214	その他	25,581		
	一般財源	99,262	53,250	一般財源	2,572		
	人員配置数	7.0	7.0	人員配置数	6.6		
事業経費運営	人件費(千円)	53,245	54,299	人件費(千円)	51,603		
	総事業費(千円)	181,048	133,763	総事業費(千円)	79,756		
	市民1人当りの経費(円)	1,020	755	市民1人当りの経費(円)	451		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○. 負担導入済
		○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○. 協働実施済
		○-1. 既に市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要である
		協働実施済の場合のパートナー 自治町内会、商店会

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	・深沢地域整備事業(土地区画整理事業)の実現のため、新駅設置に係る費用負担について県、藤沢市、鎌倉市で協議を開始した。 ・新駅設置について3者の合意形成を図るためには、新駅や事業に対する国庫補助金の導入等の事業費の削減に向けた方策が重要になるため、その検討を進める。
	<input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input checked="" type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合

予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	・新駅の費用負担割合について、県、藤沢市と協議・調整を図り、整った場合負担する可能性があるため。 ・本事業に対するJR東日本の協力を求めるための交渉を引き続き進めるため。 ・民間活力の活用を最大限取り入れる事業スキーム、及び国庫補助金の活用といった事業費の削減に向けた方策を検討するため。
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	・平成26年12月市議会の陳情採択等を受け、現行土地利用計画(案)の修正を行うことになったため、平成27年度は、市民参加によるワークショップ形式の「深沢地域整備事業のまちづくり意見交換会」を開催し、その結果を基に、権利者から意見聴取、学識及び民間事業者ヒアリング、庁内関連課との調整を踏まえ、土地利用計画(案)の確定作業を進めた。 ・深沢地域整備事業の実現に向け進捗はしているものの、事業スケジュールに遅れが生じており、西側地区権利者や大規模土地所有者であるJR東日本の土地利用に影響を与えている。 ・今後は、本事業の効果等に鑑み、引き続き権利者との合意形成の再構築を進めながら、早期の事業着手を目指していく。
-------------------	---

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新駅設置に係る費用負担割合の決定、国庫補助金の導入方策と事業費削減方策の検討</li> <li>・都市計画決定手続の再開に向けた、西側地区権利者、JR東日本との合意形成</li> <li>・平成27年12月市議会において採択された陳情を踏まえた土地利用計画の修正</li> <li>・土地利用計画の修正、事業スキームの精査等を踏まえた土地地区画整理事業の再構築</li> <li>・事業用地(A用地)の土壤汚染対策</li> </ul>	
課題解決のために行った平成27年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西側地区権利者、JR東日本との合意形成については、土地利用計画の修正によりスケジュールに遅れが生じたため、権利者全体会を開催し状況説明を行うとともに、JR東日本に対しても状況説明を行い理解を求めた。</li> <li>・土地利用計画の修正については、市民参加による「深沢地域整備事業のまちづくり意見交換会」を実施し、その結果を基に、土地利用計画の修正に係る素案の確定作業を行った。</li> <li>・土地利用計画の修正と並行して、民間事業者ヒアリングを行い事業スキームを取りまとめた。</li> <li>・事業用地(A用地)については、土壤汚染対策法に則り、処理を行った。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・権利者との合意形成</li> <li>・修正土地利用計画(案)の確定</li> <li>・修正土地利用計画(案)の確定、事業スキームの再構築を踏まえた土地地区画整理事業の再構築</li> <li>・新駅費用負担割合の決定</li> </ul>	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	施行中の土地地区画整理事業のうち、公共団体等施行の地区数割合(下段は施行実績)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	寒川町	平塚市	秦野市	大和市	綾瀬市	
他市実績	0	2/4	0/2	1/1	0/3	1/2	1/1	1/2	
	1/2	14/48	2/9	2/2	4/11	3/22	3/15	1/6	

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地地区画整理事業は、道路・公園等の都市施設を整備する最適な事業手法であり、他市において高い実績を上げている。</li> <li>・本事業においても、第3期基本計画に位置付けている鎌倉駅周辺、大船駅周辺に並ぶ第三の都市拠点の実現を図るためには、最適な手法である。</li> </ul>
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	深沢地域整備事業の周知	単位	回	指標の傾向	↗	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
本事業について関心を深めてもらうためまちづくりニュースを2回/年度、以上発行する	目標値	2	2	2	2	2	2
	実績値	1	2				
	達成率	50.0%	100.0%				

指標の内容	深沢地域整備事業の周知	単位	回	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
本事業について関心を深めてもらうため説明会等を2回/年度、以上開催する。	目標値	2	2	2	2	2	2
	実績値	4	5				
	達成率	200.0%	250.0%				

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・深沢地域整備事業区域は、JR大船工場跡地やJR社宅跡地の土壤汚染対策処理が完了し、広大な更地となっており、事業化には支障のない状況となっている。</li> <li>・しかしながら、本事業の実施には、都市計画決定、事業計画認可等の法手続き、土地地区画整理事業に係る仮換地指定を行う必要があり、これらを踏まえると、事業化には数年の期間を要することになり、権利者はもちろんのこと深沢地域の住民には、不安や不信感を与えている状況である。</li> <li>・このようなことから、本事業に係る情報発信を積極的に行い、不安の払拭に努め、早期の事業化を目指していく。</li> </ul>
-----------------------	---

● 事業に関する特記事項

<input checked="" type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
---	---